

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-62395

(43)公開日 平成6年(1994)3月4日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

H 0 4 N 7/14

識別記号

庁内整理番号

8943-5C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全 6 頁)

(21)出願番号 特願平4-210567

(22)出願日 平成4年(1992)8月7日

(71)出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72)発明者 大出 高義

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(72)発明者 竹中 哲喜

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(74)代理人 弁理士 井桁 貞一

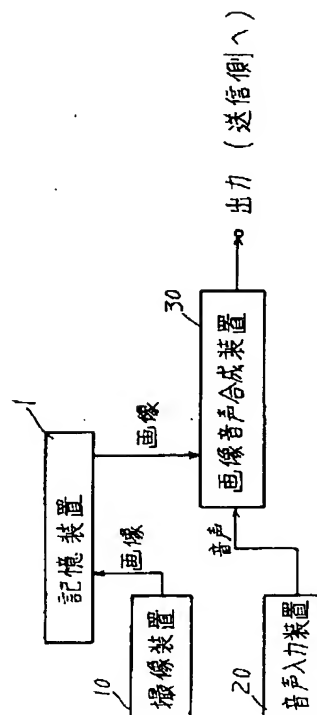
(54)【発明の名称】 TV電話機

(57)【要約】

【目的】 送信と受信の機能をもつTV電話機に関し、受信者が送信側からの電話に応答して直ぐ自分の不都合な撮像中の映像も送信してしまうことの無いようなTV電話機を目的とする。

【構成】 TV電話機に、予め撮像装置(10)で撮像された映像を記憶して置く記憶装置(1)を具え、電話が掛かって来た時に受信者が直ちに撮像画像も含めて応答をすることが不都合の場合には、該記憶装置(1)に記憶して置いた画像を、場合により音声入力装置(20)からの音声と画像音声合成装置(30)にて合成し、相手の送信者側へ出力するように構成する。

本発明のTV電話機の基本構成を示す原理図



## 1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 送信と受信の機能をもつTV電話機において、予め撮像装置(10)で撮像された映像を記憶して置く記憶装置(1)を具え、電話が掛かって来た時に受信者が直ぐ撮像画像を含めて応答することが不都合の場合は、該記憶装置(1)に予め記憶して置いた画像を、場合により音声入力装置(20)からの音声と画像音声合成装置(30)にて合成し、相手の送信側へ出力することを特徴としたTV電話機。

【請求項2】 前記記憶装置(1)に予め撮像し記憶して置かれる映像が、計算機により作成された映像に代替されることを特徴とした請求項1記載のTV電話機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は送信と受信の機能をもつTV電話機に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来のTV電話機の構成は、図7に示す如く、送信を主にした構成であって、受信者は、電話が掛かって来た時には、自分の都合と無関係に直ぐに撮像装置(10)で撮影中の画像も含めて応答するものであった。従って、受信者が相手に応答する際に、例えば散らかった部屋や化粧していない顔なども、撮像装置(10)に撮像されて送信側へ出力され、場合により、音声入力装置(20)の出力と画像音声合成装置(30)にて合成されて出力される。そして、受信者側の不都合な映像も送信側に映し出されてしまうと言う不具合があった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明の目的は、上記の従来の受信者が直ぐ撮像映像も含めて応答する場合の不具合を無くし、受信者の都合に合わせて相手送信側への応答の送信と会話とが出来るTV電話機を実現することにある。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 この目的達成のための本発明の基本構成を図1の原理図に示す。TV電話機に、予め撮像装置(10)で撮像された画像を記憶して置く記憶装置(1)を具え、電話が掛かって来て、受信者が撮像画像を含めて直ちに応答することが不都合の場合には、該記憶装置(1)に予め記憶して置いた画像を、場合により音声入力装置(20)からの音声信号と画像音声合成装置(30)にて合成し、相手の送信側へ出力するように構成する。

## 【0005】

【作用】 本発明では、TV電話機に具えられた記憶装置(1)が、予め撮像装置(10)で撮像された画像を記憶して置く。そして電話が掛かって来た時で、受信者が撮像装置(10)で撮像中の画像も含めて直ちに応答することが不都合の場合には、前記記憶装置(1)に予め記憶して置いた画像信号を、場合により、音声入力装置(20)からの

## 2

音声信号と画像音声合成装置(30)にて合成し、相手の送信側へ出力する。従って、従来の受信者が直ぐ応答する場合の不具合が無くなり、受信者の都合に合わせて相手の送信側への応答の画像の送信と会話とが出来るようになる。

## 【0006】

【実施例】 図2は本発明の第1実施例のTV電話機の構成を示す。TV電話機の受信者は、電話が掛かって来た時に、通常は、切替スイッチSWが、撮像装置10側へ接続されて、撮像装置10から撮像中の画像信号と音声入力装置20から入力中の音声信号とを、画像音声合成装置30にて合成し、送信側へ出力する。しかし、電話が掛かって来た時に、受信者が直ちに撮像装置10で撮像中の画像も含めて応答することが不都合の場合は、切替スイッチSWを、記憶装置1側へ接続し、記憶装置1からの予め撮像装置10で撮像し記憶して置いた画像信号と、音声入力装置20からの入力中の音声信号とを、画像音声合成装置30にて合成し、送信側へ出力する。

【0007】 図3の第2実施例では、通常は、撮像装置10により予め撮影し記憶装置1に記憶して置いた例えば背景となる映像と、撮像装置10により現在撮影中の例えば通話者の映像とを画像合成装置40により合成し、其の合成した画像と音声入力装置20からの入力中の音声信号とを、画像音声合成装置30にて合成して、送信側へ出力するが、受信者が撮像装置10で現在撮像中の映像を送信側へ出力することが不都合な場合は、予め撮影し記憶装置1に記憶して置いた背景となる映像のみを、前記音声信号と合成して送信側へ出力する。

【0008】 図4の第3実施例は、例えば悪戯電話の撃退等に用いられるもので、撮像装置10により予め撮影し記憶装置1<sub>1</sub>に記憶して置いた映像と、音声入力装置20から予め録音装置1<sub>2</sub>に録音して置いた音声(例えば、警察官の映像と音声など)とを、悪戯電話が掛かって来た時に、切替スイッチSWを、記憶装置1<sub>1</sub>と録音装置1<sub>2</sub>の側へ切り替えて、相手に送出して悪戯電話を撃退する。

【0009】 図5の第4実施例は、映像は撮像装置10により現在撮影中の映像と予め撮影し記憶装置1<sub>1</sub>に記憶して置いた映像とを切り替え、音声は音声入力装置20から入力中の音声と予め録音装置1<sub>2</sub>に録音して置いた音声とを切り替える切替スイッチSWを有し、映像と音声とを画像音声合成装置30にて合成し送信側へ出力するが、また、予め特定の電話番号と発信者名とを記憶して置く記憶装置50と、外部から掛かって来た電話番号と発信者名とを前記記憶装置50により照合する照合装置60とを有し、その照合装置60の照合結果により、前記切替スイッチSWを制御して、適当な映像と音声とを選択し、合成して送信側へ出力する。

【0010】 図6の第5実施例は、図2、図3、又は図4の実施例のTV電話機において、記憶装置1、1<sub>1</sub>に予め撮像装置10で撮影し記憶された画像や録音装置1<sub>2</sub>で予め

3

4

録音された音声の代りに、計算機により作成された映像や音声を使用する。そして随時、切替スイッチSWで、撮像装置10からの撮影中の映像や音声入力装置20から入力中の音声を、計算機が作成した映像や音声に切替え、画像音声合成装置30にて合成して、相手側へ送信する。

【0011】そして上記何れの実施例においても、必要により、画像音声合成装置30の出力端にモニタ70を具えて、送信中の映像を確認する。

【0012】

【発明の効果】以上説明した如く、本発明によれば、電話が掛かって来た時の受信者の応答に際し、受信者の都合に合わせて相手送信側への送像と会話とが出来るので、TV電話機の便利性を向上し、一層の需要を喚起する効

果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明のTV電話機の基本構成を示す原理図

【図2】 本発明の第1実施例のTV電話機の構成図

【図3】 本発明の第2実施例のTV電話機の構成図

【図4】 本発明の第3実施例のTV電話機の構成図

【図5】 本発明の第4実施例のTV電話機の構成図

【図6】 本発明の第5実施例のTV電話機の構成図

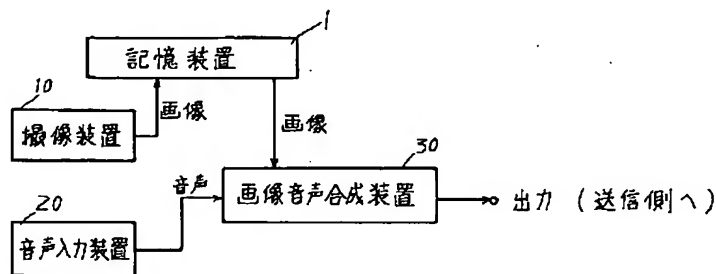
【図7】 従来のTV電話機の構成図

【符号の説明】

1, 1<sub>1</sub>は記憶装置、1<sub>2</sub>は録音装置、10は撮像装置、20は音声入力装置、30は画像音声合成装置である。

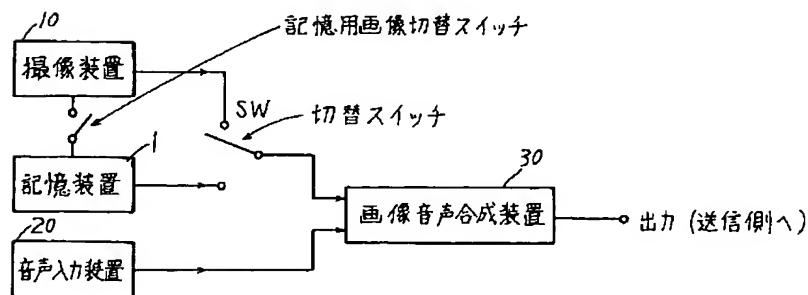
【図1】

本発明のTV電話機の基本構成を示す原理図



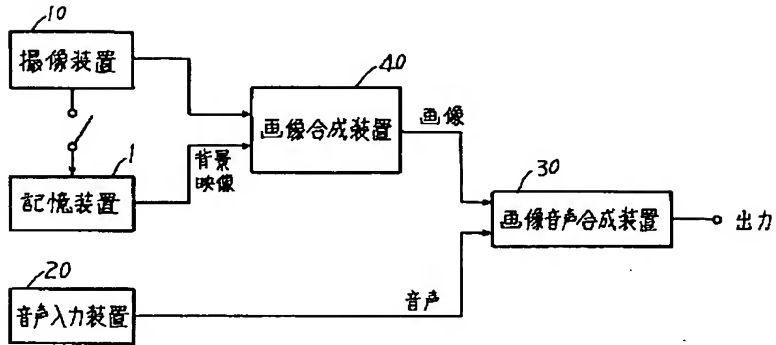
【図2】

本発明の第1実施例のTV電話機の構成図



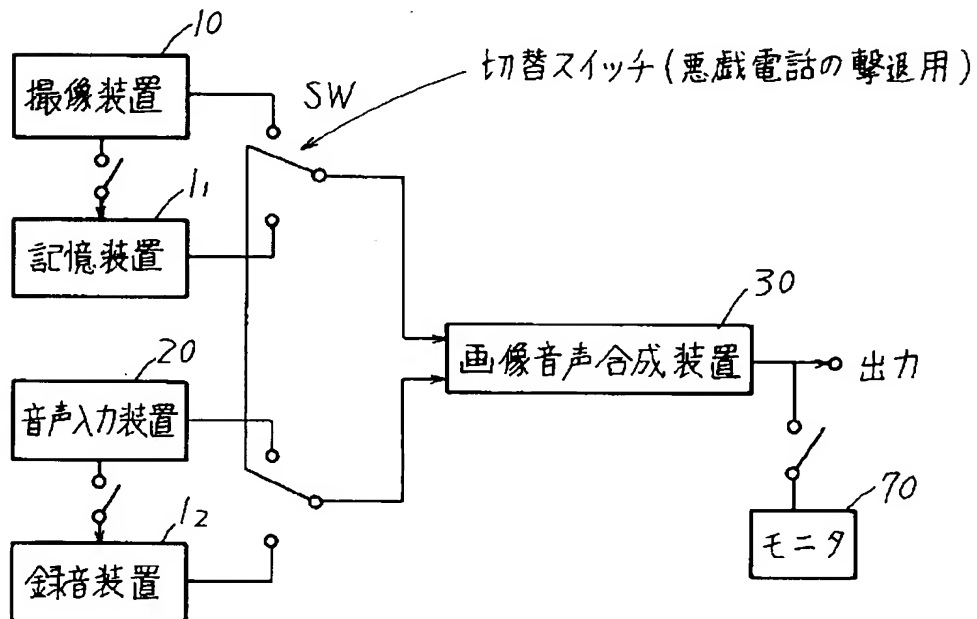
【図3】

本発明の第2実施例のTV電話機の構成図



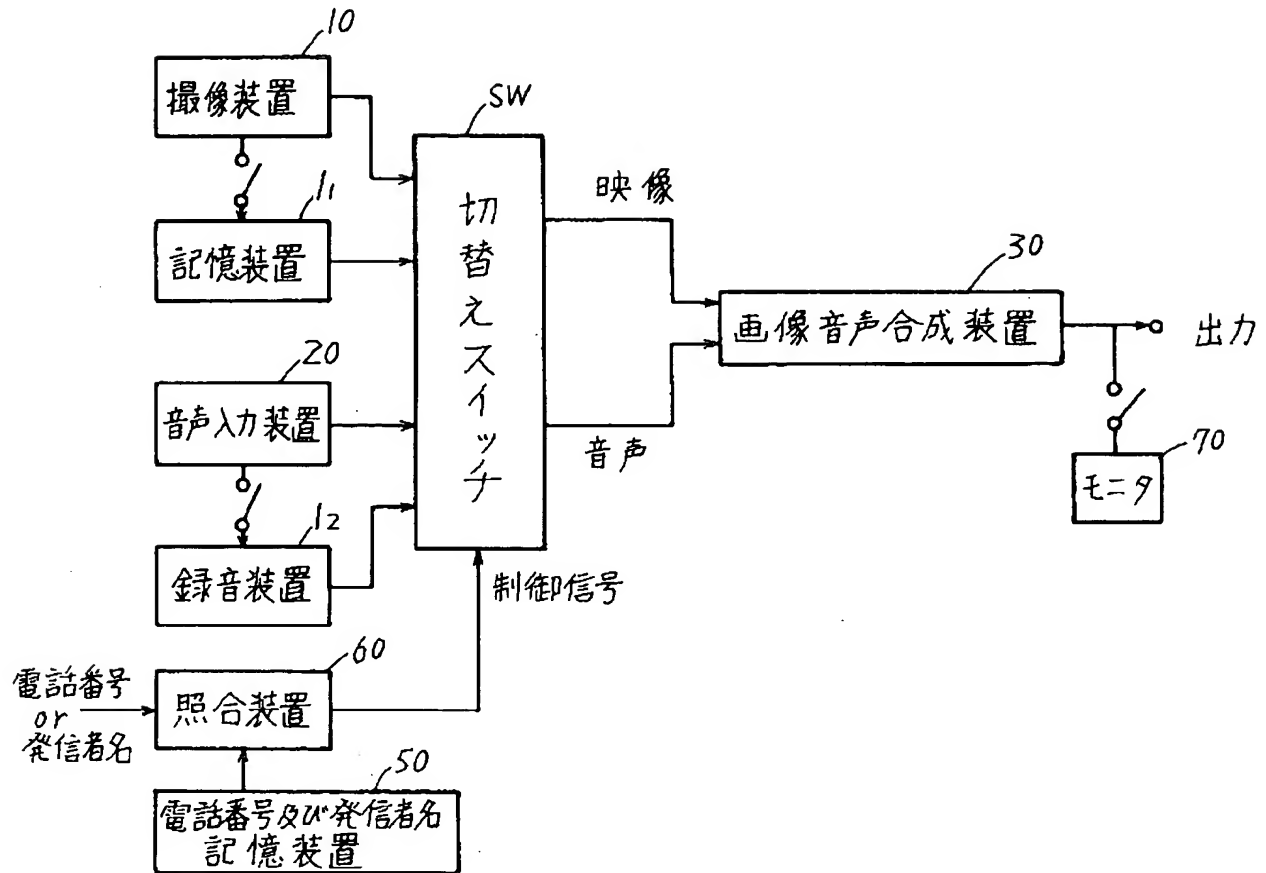
【図4】

本発明の第3実施例のTV電話機の構成図



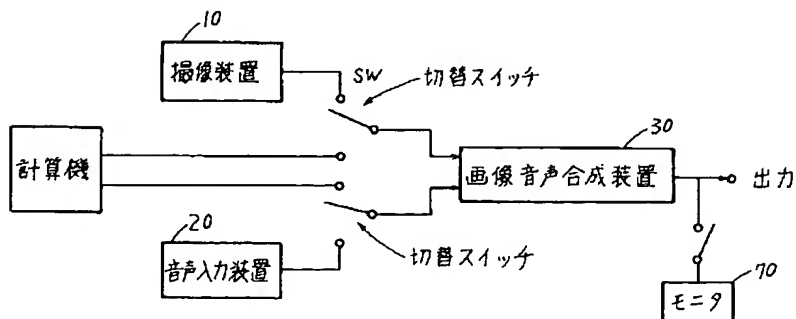
【図5】

本発明の第4実施例のTV電話機の構成図



【図6】

本発明の第5実施例のTV電話機の構成図



【図7】

従来のTV電話機の構成図

